

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 介護予防と社会参加の促進

指標	生きがいを持っている高齢者の割合 (%)	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
	【福祉課】	71.9	77.1	72.0	75.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 生きがいを持っている高齢者の割合は、基準値(71.9%)と比較して、0.1ポイント向上しましたが、前年度と比較すると、5.1ポイント低下しました。					対前年度
	(要因) 老人クラブ活動や地域でのボランティア活動などの各種事業を連携して、生きがいづくりに積極的に取り組んだことが挙げられますが、昨年度より向上しなかった要因としては、新型コロナウイルスの感染拡大により、活動ができなかったことが影響したものと考えます。					☔️ (低下)
						目標達成度 ■ (中)

基本事業01 介護予防と社会参加の促進

指標	新規要介護認定者出現率 (%)	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
	【介護保険課】	2.0	1.8	2.1	1.9	☔️ (低下)
評価	(状況) 令和2年度に新しく要介護認定を受けた65歳以上の方は731人、新規要介護認定者出現率は、65歳以上の高齢者人口35,352人の2.1%となり、基準値(2.0%)と比較すると0.1ポイント低下となり、前年度と比較すると0.3ポイント低下しました。					対前年度
	(要因) 高齢者人口の増加やコロナ禍においての不要不急の外出制限により、高齢者の身体機能低下による新規申請の増加等が要因のひとつと考えられます。今後も引き続き、介護予防の必要性を啓発し、適切な介護認定に取り組めます。					☔️ (低下)
						目標達成度 ■ (低)

基本事業02 日常生活の支援

指標	日常生活支援の延べ利用者数 (人)	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
	【福祉課】	1,755	1,801	4,547	2,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 基準値(1,755人)と比較して、算定方式の変更により大幅に増加しました。今後も、サービスが必要な方に適切なサービスが提供されるよう、ホームページや高齢者ガイドブックを活用し周知を図ります。 サービス実績データより算出					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度 👑 (達成)

基本事業02 日常生活の支援

指標	高齢者虐待件数 (件)	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
	【福祉課】	7	25	17	5	☔️ (低下)
評価	(状況) 高齢者虐待件数は、基準値(7件)と比較して、10件増加となりました。					対前年度
	(要因) 高齢者虐待の通報義務が市民の方々へ浸透したことで、市への通報が多くなったことが挙げられます。また、高齢者数は今後も増加傾向にあり、介護者の負担や養護者との関係も複雑化することで、高齢者虐待が増加することが予想されます。今後も、高齢者の人権が守られるよう、要援護高齢者ネットワーク事業をはじめとした関係機関の連携を強化していきます。高齢者虐待防止法に基づく対応調査より算出					☀️ (向上)
						目標達成度 ■ (低)

基本事業03 介護サービスの推進

指標	介護保険サービスの満足度（3年に1度）（％） 【介護保険課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H27)	(R01)	(R02)	(R03)	
		-	58.3	-	75	
評価	3年に1度の調査による指標取得のため、当該年度の指標の取得はありません。					対前年度
		(比較不可)	(比較不可)	目標達成度	(---)	

基本事業03 介護サービスの推進

指標	認定不服に関する審査請求件数（件） 【介護保険課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H27)	(R01)	(R02)	(R03)	
		1	0	0	0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 要介護認定に関する審査請求件数は、前年度と同様に0件で、目標を達成しています。</p> <p>(要因) 利用者の個々の身体状況や環境状況、介護の考え方など苦情の原因は様々ですが、窓口等での説明によりご納得いただいたことによるものです。今後も引き続き、認定結果に不服が起きないように受付時や調査時に丁寧に説明していきます。</p>					対前年度
		☀️ (向上)	目標達成度	🏰 (達成)		

基本事業03 介護サービスの推進

指標	入所待機者数(要介護度3以上)（人） 【介護保険課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H27)	(R01)	(R02)	(R03)	
		157	139	130	120	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 入所待機者数(要介護度3以上)は、基準値(157人)と比較して、27人減少となりました。</p> <p>(要因) 在宅サービスが充実したことや施設の基盤整備が進展したことが挙げられます。今後も、更に在宅の介護サービスを充実させていくとともに、施設の基盤整備を進めていきます。</p>					対前年度
		☀️ (向上)	目標達成度	▬ (中)		

基本事業04 医療・介護連携の基盤づくり

指標	医療との連携による在宅生活ケア件数（件） 【介護保険課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H27)	(R01)	(R02)	(R03)	
		-	79	55	25	☔️ (低下)
評価	<p>(状況) 新型コロナウイルス感染症の影響か、6月は相談がなかったが、それ以外の月は昨年度と同様の相談件数でした。</p> <p>(要因) 本人・家族、ケアマネジャーからの相談が主でした。R2年度は、病院からの相談が減少しています。今後も、引き続き周知を図ります。</p> <p>(本指標は、初期値がないため、前年度値からの比較にて、成果状況を評価しています。)</p>					対前年度
		☔️ (低下)	目標達成度	🏰 (達成)		

基本事業04 医療・介護連携の基盤づくり

指標	関係機関からの医療介護連携に関する情報提供件数 (件)	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
		【介護保険課】	-	31	14	50
評価	(状況) 昨年度の半分程度の方を往診医につなぎました					対前年度
	(要因) 指数値減の要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響で相談件数が少なかったことと、市民への普及啓発が十分でなかったことが考えられます。					☔ (低下)
評価	(本指標は、初期値がないため、前年度値からの比較にて、成果状況を評価しています。)					目標達成度
						■ (中)

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

指標	介護保険料現年度収納率 (普通徴収 + 特別徴収) (%)	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
		【介護保険課】	99.32	99.75	99.77	99.50
評価	(状況) 介護保険料現年度収納率は、基準値(99.32%)と比較して0.45ポイント向上し、前年度と比較しても0.02ポイント向上しました。					対前年度
	(要因) 被保険者の理解が進んでいることに加え、早めの催告や納付勧奨を行っていることが挙げられます。今後も納付者との公平性を図るためにも、収納率の向上を目指します。					☀ (向上)
評価						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

指標	介護保険1人あたり給付費 (円)	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
		【介護保険課】	120,889	136,800	136,527	120,000
評価	(状況) 本指標は、利用しやすい介護制度の浸透と、過度な給付費の抑制のバランスを評価するものであり、令和元年度の後期高齢者(75歳以上高齢者)人口の伸び率(101.83%)に対し、一人あたり給付費の伸び率(99.8%)は減少しました。					対前年度
	(要因) 給付費は昨年度より増加しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、サービスの利用を控えていることが1人あたり給付費の減少に繋がっていると思われます。今後も65歳以上の前期高齢者が要介護状態にならないよう、感染症にも配慮した介護予防事業等の更なる展開が重要になります。					☀ (向上)
評価						目標達成度
						■ (低)

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

指標	後期高齢者医療保険料 現年度収納率 (%)	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
		【国保年金課】	99.71	99.71	99.86	99.75
評価	(状況) 後期高齢者医療の現年度収納率は、基準値(99.71%)及び前年度と比較して0.15ポイント向上しました。					対前年度
	(要因) 口座振替の推進や徴収強化の取組を推進したことが挙げられます。					☀ (向上)
評価						目標達成度
						🏰 (達成)

